

慶 應 義 塾 大 学 試 験 問 題 (三 田)

平成 28 年 1 月 27 日(水) 1 時限施行		学部				学科・専攻		年 組		採 点 欄	※
担当者名	別所 俊一郎 君	学籍番号									
科 目 名	[経]経済政策論b	氏 名									
持 込	持ち込み不可			試 験 時 間 50 分				答 案 別 紙 問 答 一 体			

1 . 以下の記述が適切かどうか判定しなさい。不適切なときには下線部をどのように修正すればよいか、理由とともに簡潔に書きなさい (各 6 点, 54 点)。

(1) 無作為割当実験によって効果を確認された職業訓練を全国に拡大すると、職業訓練を受けた労働者が増えるために賃金率が相対的に低下してしまう可能性がある。このような効果をホーソン効果と呼ぶ。

(2) 右上がりの労働供給曲線を考える。職業訓練によって労働供給線上のより右上の点に労働供給が移動したとすると、余剰の増加は所得の増加より大きい。

(3) 指定ゴミ袋の価格が同じいくつかの市町村について、世帯当たりのごみ処理量のデータを得ることができた。このデータからごみ処理量とごみ袋価格の関係を推測することができる。

(4) 公営プールに対する需要関数を推定するとき、代替法を採用すると、高額な会費を徴収する民間のジムのプールに対する需要関数を用いるのが適切である。

(5) サイト選択モデルでは、各サイトが選ばれる確率がサイトの属性によって決定されると仮定して分析を行う。

(6) ヘドニック価格関数を 1 段階のみで推定するとき、属性の変化が大きければ、ヘドニック価格関数による経済評価は過大になる。

(7) 死亡リスクを説明変数として加えたヘドニック賃金を推定して得られる生命の価値のことを QOL と呼ぶ。

(8) 表明選好法を用いた調査において、調査者を喜ばせるような答えを選ぶバイアスのことを 支払い手段バイアス と呼ぶ。

(9) 医療分野における CEA を用いると、異なる疾病や他分野の施策との費用便益の比較が可能である。

2. 奄美大島の観光価値を推定するために、奄美大島空港で観光客に調査票を配布して、出発地の聞き取りを行った。回収率は65%であった。調査票を回収した観光客の出発地別の人数から、各地域の訪問比率を求めた。他方、Yahoo!路線情報を用いて、出発地域の代表的な空港から奄美大島空港までの往復航空運賃を求めた。これらのデータを用いてゾーントラベルコスト法に基づいて回帰分析を行った。被説明変数・説明変数ともに対数変換して推定したところ、係数の推定値は-3.50、標準誤差は0.75であった。以下の問いに答えなさい(22点)。

(1) この推定における被説明変数・説明変数は何か、答えなさい(4点)。

(2) この推定結果から、係数はゼロであるといつてよいか、統計的に検定しなさい(4点)。

(3) 推定された係数の符号は、ゾーントラベルコスト法で期待される符号と整合的か、説明しなさい(4点)。

(4) 「往復航空運賃」をこの分析の変数として用いることの問題点を一つ挙げ、なぜ問題なのか説明しなさい(5点)。

(5) 個人トラベルコスト法と比べたときのゾーントラベルコスト法の問題点について説明しなさい(5点)。

3. 過去に失われた干潟の経済価値を推定するために、web アンケートを用いてCVM調査を行いました。おもな質問は「1978年から2010年までに失われた干潟面積の15%に当たる約1,400haを7年間かけて回復するために基金を造成します。あなたは、この基金のために年間XXX円を支払ってもかまいませんか。」であり、「はい」か「いいえ」を選ばせるものでした。以下の問いに答えなさい(24点)。

(1) 質問文のなかの「XXX円」はどのように設定されるか、説明しなさい(6点)。

(2) 線形ロジットモデルで推定したところ、定数項の推定値は10、係数の推定値は-0.005でした。誤差項の中位値がゼロであることに注意して、この推定結果から支払意思額の中位値を求めなさい(6点)。

(3) 回答者のなかには「基金でお金を集めるという方法に反対」とコメントした人もいました。このような回答はどう扱うべきですか(6点)。

(4) この調査で得られた結果が、干潟の経済価値を過大評価しているとするれば、どのような要因が考えられるか、1つ挙げて説明しなさい(6点)。

[採点外]授業に対する意見やコメントがあれば自由に記述してください。